

研究課題名	超緊急帝王切開宣言の伝達体制変更の効果を検討する後ろ向き観察研究
研究実施機関名および研究責任者	さいたま赤十字病院 片野良香
研究代表施設および代表研究者	さいたま赤十字病院 片野良香
研究期間	倫理審査委員会承認後～2025 年 12 月
研究の目的と意義	院内の超緊急帝王切開宣言の伝達体制変更が、宣言から入室までの時間、宣言から娩出までの時間の短縮に寄与したかを明らかにし、超緊急帝王切開における母体・胎児予後の改善を目指すこと。
本研究の対象となる方	2017 年 1 月から 2024 年 8 月に超緊急帝王切開を受けた患者
提供していただく内容	・母体に関するデータ 年齢、身長、体重、在胎週数、帝王切開の適応理由、周術期の有害事象（術中覚醒、術後 30 日死亡）等 ・胎児に関するデータ Apgar score 1 分値、5 分値、臍帯血 pH ・麻酔・手術のデータ 超緊急帝王切開が宣言された時刻、入室までの時間、児娩出までの時間、手術時間、麻酔時間、気管挿管所見
研究内容	介入・侵襲を伴わない後ろ向き観察研究
個人情報の取り扱い	本研究は「ヘルシンキ宣言」及び「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」およびその他関連法規を遵守して実施する。 研究実施に関わる必須文書を、さいたま赤十字病院に、研究終了について報告された日から 5 年間保管する。
問い合わせ先	所属：さいたま赤十字病院 麻酔科 氏名：片野良香 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5 電話：048-852-1111